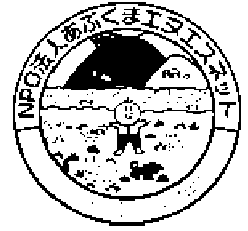


緊急講演会 ふくしまの生の声を聴こう！

避難・屋内退避が続く



福島の子どもたちにも楽しい夏休みを！

——北海道サマーキャンププロジェクトにかける思い——

地震、原発事故、長期の避難・屋内退避・・・福島の子ども達は追い詰められています。「もうすぐやってくる夏休みくらいのびのび遊び、一生の宝になる思い出を作ってほしい！」その想いに多くのNPO、行政、著名人が賛同、北海道での長期林間学校が実現します。今回お話を伺うのは、このプロジェクトの発起人で、大田区出身の進士徹さんです。長年福島で自然体験、農業体験活動が続け、震災後、南相馬や郡山で支援活動をされてきた進士さんの生の声から、東京に住む私達が学ぶものは多いはず。まさかのときの対応、子どもの心のケア、今私達にできること……。福島の現状を直に聞ける貴重な機会です。一人でも多くの方に聞いていただきたいと思えます。どうぞお誘い合わせおいでください。

日時 7月8日(金)午後7時～9時

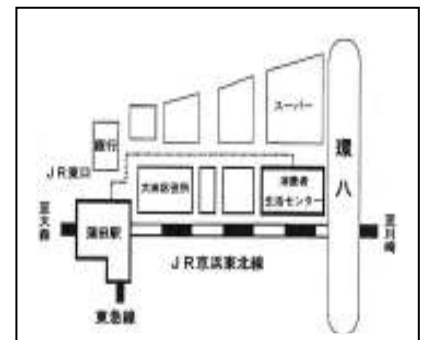
場所 大田区立消費者生活センター

大集会室 (JR蒲田駅東口徒歩3分)

入場料 1,000円 (被災者の方・高校生以下無料)

※ 会場費、講師交通費を除く全額を、「福島の子どもを守ろうプログラム支援金」とさせていただきます。

講師 進士徹氏



NPO あぶくまエヌエスネット理事長 (大田区出身・福島県東白川郡鮫川村在住)

「土、自然から学び共に生きよう」をテーマに、子どもから大人まで四季折々山村での体験講座を実施。生涯体験交流学习の場づくりに長年力を注ぐ。

あぶくまエヌエスネット HP <http://www2.ocn.ne.jp/~abukuma>

福島の子どもを守ろうプログラム実行委員長

「まさか！のときの生き残り塾」(家の光協会) 著者

主催 ふくしまキッズ応援団おおた 問合せ先 和田 09080554747 044-555-1655(faxのみ)
サマーキャンププロジェクトの詳細は裏面をご覧ください。講演会は申込不要(前売もしています1,000円)